

## 北空知地域推進方針の進捗状況等

(計画期間:平成25年度から概ね5年間)

※「進捗状況等」での「基準値」及び「現状値」には、地域推進方針での「現状値」及び評価時点での「直近値」を記載。

## 1 がんの医療連携体制

## ○ 主な取組

(禁煙行動の支援と受動喫煙防止対策の推進)

- ・ 受動喫煙防止対策の一環として、世界禁煙デーのポスター配布に併せて、医療機関・歯科医療機関・薬局等に「おいしい空気の施設」登録推進、他、飲食店許可申請時や関係団体等に「おいしい空気の施設」登録を働きかけ

(がん検診受診率の向上)

- ・ 各種がん予防の普及啓発事業について、市町・医療機関等を通じて周知

(がん診療体制の確保と充実)

- ・ がん診療体制の確保と充実を図るため、北海道がん診療連携指定病院の指定に向けた関係機関との連携協力

## ○ 進捗状況等

\* 1 H23-27の平均で算出(国調人口はH22-27の平均)

指標名(単位)		基準値	目標値	現状値	評価		
75歳未満のがん年齢調整死亡率(人口10万対:人)	男性	91.3	減少	94.2	H27	助成の年齢調整死亡率は増加している。	
	女性	48.9	減少	73.2	* 1		
全面禁煙実施率(%)	役場庁舎	60.0	100.0	80.0	H29	役場庁舎、医療機関の全面禁煙実施率は増加している。	
	学校	90.5		70.0	* 2		
	医療機関	24.4		60.0			
がん検診受診率(%)	肺がん	25.8	40.0以上	19.2	H27	がん検診受診率は増加しているとは言えない。	
	胃がん	31.3		14.9			
	大腸がん	30.0		19.1			
	乳がん	26.1	50.0以上	26.7			* 3
	子宮頸がん	32.5	19.2				

\* 2 30年2月現在(おいしい空気の施設登録数)

\* 3 平成27年度地域保健・健康増進事業報告

## ○ 今後の対応方向

- ・ 禁煙行動の支援及び受動喫煙防止対策の一層の推進とがん検診受診率向上に取り組む必要がある。
- ・ 北海道がん診療連携指定病院を中核にがん医療の均てん化及び在宅がん医療、緩和ケアの相談支援等の充実を図る。

## 2 脳卒中の医療連携体制

## ○ 主な取組

(生活習慣の改善)

- ・ 管内市町行政栄養士と連携し、高齢者の栄養管理に おすすめのメニュー作成など、地域住民の生活習慣病の改善
- ・ 北空知圏域重症化予防研修会開催

## ○ 進捗状況等

指標名(単位)		基準値	目標値	現状値	評価	
市町村国保特定健康診査実施率(%)		45.0	69.0	45.0	H28	市町村国保特定健康診査実施率は、変動なし。
脳血管疾患年齢調整死亡率(人口10万対:人)	男性	59.0	43.4	44.4	H27	年齢調整死亡率は減少している。
	女性	23.0	減少	19.4	* 1	

## ○ 今後の対応方向

- ・ 職域に対する生活習慣病対策、特に発病因子である高血圧、糖尿病、脂質異常症等の早期発見、早期治療促進のため、「北空知圏域地域・職域連携推進連絡会」で健康づくり対策を検討し、取り組む。

## 3 急性心筋梗塞の医療連携体制

## ○ 主な取組

(生活習慣の改善)

- ・ 管内市町行政栄養士と連携し、「調理法によるエネルギーの差」のリーフレット作成など、地域住民の生活習慣病の改善
- ・ 北空知圏域重症化予防研修会開催

## ○ 進捗状況等

指標名(単位)		基準値	目標値	現状値	評価	
市町村国保特定健康診査実施率(%)		45.0	69.0	45.0	H28	市町村国保特定健康診査実施率は、変動なし。
急性心筋梗塞年齢調整死亡率(人口10万対:人)	男性	50.0	20.0	35.6	H27	男性の年齢調整死亡率は減少している。
	女性	14.0	8.7	14.5	* 1	

## ○ 今後の対応方向

- ・ 職域に対する生活習慣病対策、特に発病因子である高血圧、糖尿病、脂質異常症等の早期発見、早期治療促進のため、「北空知圏域地域・職域連携推進連絡会」で健康づくり対策を検討し、取り組む。

#### 4 糖尿病の医療連携体制

##### ○ 主な取組

(発生予防のための健診や保健指導の推進)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>管内行政栄養士研修会の開催(テーマ:CKD)</li> <li>北空知圏域重症化予防研修会開催</li> </ul>	
(重症化の防止と指導・相談体制の充実)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>北空知糖尿病療養連携システム作業部会を開催し、医療機関向けリーフレットを作成</li> <li>北空知糖尿病療養連携システム会議を開催し、システム推進のための方策等について協議</li> </ul>	
(医療連携体制の充実)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「糖尿病なんでも教室」を管内市町へ案内</li> <li>旭川地域糖尿病パスモデル事業の運用推進会議に参加し活用を検討</li> </ul>	

##### ○ 進捗状況等

指標名(単位)	基準値	目標値	現状値	評価	
市町村国保特定健康診査実施率(%)	45.0	69.0	45.0	H28 市町村国保特定健康診査実施率は、変動なし。	
血液透析患者数(人)	90	減少	71	H28 血液透析患者数は減少している。	
北空知糖尿病療養連携システムの活用件数(件)	医療中断者支援件数	0	増加	0	H29 北空知糖尿病療養連携システムの活用件数は増えている。
	市町栄養等指導件数	4	増加	8	

##### ○ 今後の対応方向

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年12月に「北海道糖尿病性腎症重症化予防プログラム」が作成され、今後より体系的な糖尿病対策を推進するため「北空知糖尿病療養連携システム会議」において医療機関と市町保健指導部門との連携を進めるとともに、旭川地域連携パスの活用による専門医療機関との協力体制確保や市町の健康づくり事業との一体的な対策の推進を図って行く。</li> </ul>
---

#### 5 精神疾患の医療連携体制

##### ○ 主な取組

(精神疾患の予防・アクセス)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>高次脳機能障がい相談窓口の保健所ホームページによる周知</li> <li>発達障害対応医療機関の保健所ホームページによる周知</li> <li>各種研修会の開催(自殺予防)</li> </ul>	
(治療・回復・社会復帰)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>長期入院患者の地域移行のための事業委託</li> <li>退院患者の地域生活支援のための処遇検討の実施</li> </ul>	
(専門医療／精神科救急・身体合併症)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>精神科救急医療体制整備事業道央(空知)ブロック調整会議において、輪番体制の確保並びに精神疾患患者(身体合併症患者を含む。)の搬送及び受入れルールを作成</li> </ul>	
(専門医療／児童精神医療)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>北空知児童思春期セミナーの開催</li> <li>子どもの心の診療ネットワーク研修会開催(道実施)</li> <li>こころの相談(思春期相談)の実施</li> </ul>	
(専門医療／医療観察法)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>道北地域医療観察制度地域連絡協議会への参加</li> </ul>	
(うつ病)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>北空知地域自殺対策連絡会議の開催</li> <li>かかりつけ医等うつ病対応向上研修(道実施)</li> </ul>	
(認知症)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症疾患医療連携協議会への参加</li> <li>深川市認知症ケア研究会等と連携し、見守り体制の構築</li> </ul>	

##### ○ 進捗状況等

指標名(単位)	基準値	目標値	現状値	評価
1年未満入院患者の平均退院率(%)	67.5	(平成26年度) 76.0	86.3	H27 平均退院率は、増加してる。1年以上の入院は、高齢者の認知症や統合失調症でいずれも任意入院であった。
退院患者の平均在院日数(日)	215.7	減少	1,127.3	H26 H23年調査結果と比較して大幅に増加している。長期入院者の死亡等による退院が原因と思われるため、評価不能。

##### ○ 今後の対応方向

<ul style="list-style-type: none"> <li>施策の方向に沿って必要な事業を引き続き実施するとともに、地域に必要な精神科医療の確保に取り組む。</li> <li>高齢化の進展に伴い認知症高齢者への支援が喫緊の地域課題となっていることから、市町の検討に協力するとともに、医療機関等との連携体制について検討を進める必要がある。</li> </ul>
--

## 6 救急医療体制

### ○ 主な取組

#### (救急医療体制の再構築)

- ・ 救急診療医師確保に向け市町、深川医師会等の協議を実施(北空知圏域振興協議会民生部会ほか)
- ・ 休日・夜間救急診療医師の募集(平成29年6月から医師10人、月1回程度従事)
- ・ 救急の日講演会等の開催(救急蘇生法(AED)の指導など)

### ○ 進捗状況等

指標名(単位)	基準値	目標値	現状値	評価
初期救急医療の確保市町村割合(%) 【初期救急医療体制の維持】	100	100	100 H29	市町・深川医師会等との協議調整の結果、休日当番医制の体制確保が図られている。
二次救急医療体制の確保医療圏数(医療圏) 【二次救急医療体制の維持】	1	1	1 H29	初期体制確保により、二次を担う深川市立病院の負担軽減が図られている。
救急法等講習会の実施医療圏数(医療圏) 【救急法等講習会の実施継続】	1	1	1 H29	講演会等の開催により、地域住民への救急医療に関する知識の普及啓発が図られている。
救急自動車による搬送時間が1時間以上の救急患者割合(%) 【長時間搬送の抑制】	7.6	全国平均(9.3)以下を維持	8.9 H28	救急患者割合は増加したものの、目標値である全国平均以下を維持しており、搬送体制の整備が図られている。

### ○ 今後の対応方向

- ・ 平成26年4月から救急告示病院であった沼田厚生病院が無床診療所となり、管内の救急医療体制の再構築に取り組んできたが、平成27年4月から管内の中核病院である深川市立病院において、小児科・産婦人科の常勤医師が不在となっていることから、引き続き救急医療体制の再構築に取り組むとともに、他圏域とのさらなる連携に努める。

## 7 災害医療体制

### ○ 主な取組

#### (災害時の医療体制の整備)

- ・ 災害派遣医療チーム(DMAT)隊員技能維持研修への参加(27年5月:5名/深川市立病院)
- ・ 災害派遣医療チーム(DMAT)実働訓練への参加(28年7月:5名/深川市立病院)
- ・ 大規模災害訓練の開催(29年10月/深川市立病院:深川消防署と合同訓練)

### ○ 進捗状況等

指標名(単位)	基準値	目標値	現状値	評価
救急派遣医療チーム(DMAT)の確保数(箇所) 【DMATの体制整備】	0	1	1 H29	深川市立病院医師等の養成研修受講によりDMATを確保することができ、災害拠点病院としての体制確保が図られている。
病院におけるEMIS登録率(%) 【広域災害・救急医療情報システムの整備】	50	増加	100 H29	すべての病院がEMISに登録された。

### ○ 今後の対応方向

- ・ DMATの体制確保のため機能維持や必要な資機材の整備に努めるとともに、地域住民への意識啓発等に引き続き取り組む。

## 8 へき地医療体制

### ○ 主な取組

#### (公共交通機関の確保と保健指導の実施)

- ・ 沼田厚生病院の無床診療所化に伴う、中核病院への通院支援等を実施(高齢者等入院交通費等)
- ・ 1市3町(深川市・妹背牛町・秩父別町・北竜町)においても通院等支援実施(乗り合いタクシー、路線バス等)

### ○ 進捗状況等

指標名(単位)	基準値	目標値	現状値	評価
へき地医療拠点病院数(箇所) 【へき地医療拠点病院の体制維持】	1	1	1 H29	中核的医療機関としての深川市立病院の機能確保により、へき地医療拠点病院の体制維持が図られている。

### ○ 今後の対応方向

- ・ 平成28年3月に策定した「地域医療構想」に基づき地域の医療提供体制の構築を進めていくなかで、管内のへき地医療体制についても検討していく必要がある。

## 9 周産期医療体制

### ○ 主な取組

- (産婦人科医師の確保)
- 産婦人科常勤医師の確保に努力
- (医療機関相互の連携促進)
- 北空知養育者支援保健医療連携システム会議を開催し、関係機関との連携を推進

### ○ 進捗状況等

指標名(単位)	基準値	目標値	現状値	評価
地域周産期センター数(箇所) 【地域周産期センターの体制維持】	1	1	1 (休止) H29	小児科・産婦人科の常勤医師不在により深川市立病院の地域周産期医療センター体制維持が困難な状況となっている。

### ○ 今後の対応方向

- 平成27年4月から深川市立病院において、小児科・産婦人科の常勤医師が不在となっていることから、周産期医療体制確保のため、引き続き産婦人科医師の確保、上川中部・中空知圏域の産科医療機関との連携促進に取り組み、安全に安心して妊娠出産できる体制の確保を図るとともに、産後ケア等の地域相談支援体制(産後ケア・育児サポート事業)を整備する。

## 10 小児医療体制(小児救急医療を含む)

### ○ 主な取組

- (相談支援体制の整備)
- 母子保健に係る相談支援者を対象に研修会、会議を開催
  - 北空知養育者支援保健医療連携システム会議を開催し、関係機関との連携を推進
- (小児救急医療体制の確保)
- 管内全体の救急医療体制再構築の中で小児医療も含めて推進(「6 救急医療体制」参照)

### ○ 進捗状況等

指標名(単位)	基準値	目標値	現状値	評価
小児救急医療支援事業参加病院数(箇所) 【小児二次救急医療の体制維持】	1	1	1 (休止) H29	深川市立病院の小児科常勤医師不在により、暫定的に上川中部圏域の小児救急医療支援事業参加病院との連携で小児二次救急医療の体制を維持している。

### ○ 今後の対応方向

- 平成27年4月から深川市立病院において、小児科の常勤医師が不在となっていることから、小児科の二次救急医療体制確保のため、引き続き小児科医の確保に取り組むとともに、上川中部圏域の関係医療機関等との連携強化に努める。
- 相談支援担当者の支援技術の向上や関係機関との連携強化を図り、適正受診を含めた相談支援体制を整備に努める。

## 11 在宅医療の提供体制

### ○ 主な取組

- (在宅医療の連携体制づくり)
- 北空知地域医療介護確保推進協議会(以下協議会)に構成機関として協議会、運営会議、専門部に参画
  - 各会参画状況:協議会(1回)運営会議(2回)医療・介護情報共有支援部会(3回)退院調整・在宅生活支援部会(14回)多職種連携・地域啓発部会(15回)
  - 地域包括ケアに携わる多職種合同研修会開催(協議会・北海道看護協会共催)(1回:29年10月)
  - 在宅療養を考える北空知地域住民フォーラム開催(協議会・北海道看護協会共催)(1回:29年12月)
  - 北空知地域入退院支援研修会開催(深川保健所・協議会共催)(2回:29年11月、30年3月)
  - 看護管理者研修会開催(深川保健所・深川市立病院共催)(2回:29年11月、30年3月)

### ○ 進捗状況等

指標名(単位)	基準値	目標値	現状値	評価
在宅医療連携拠点数(箇所) 【在宅医療連携拠点の整備】	0	1以上	1	医療介護の連携拠点として深川市立病院内に「北空知地域医療介護連携支援センター」が設置されている(28年6月～)

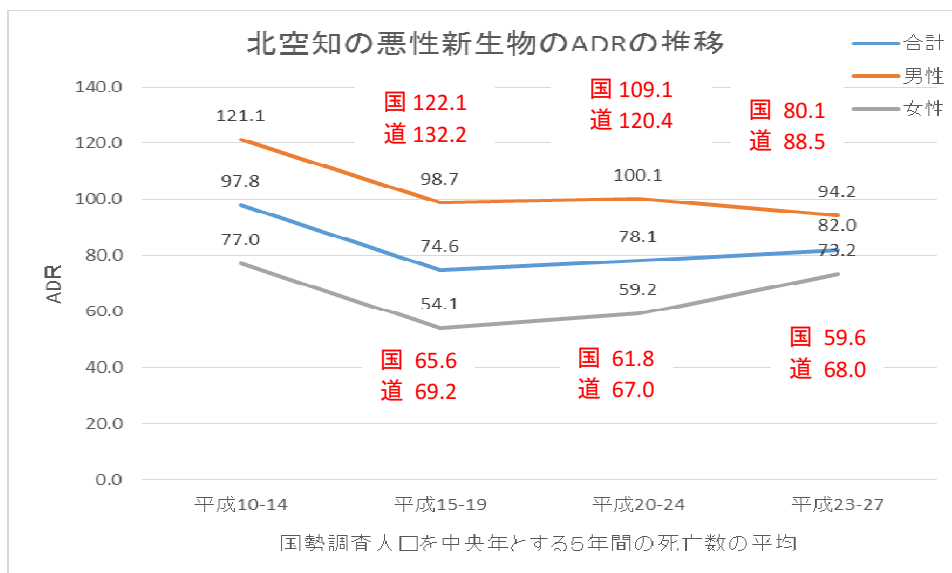
### ○ 今後の対応方向

- 住民が希望する療養生活を選択でき、安心して暮らせる地域づくりのため、協議会を中心に、既存団体と協働して、連携体制づくりの検討・推進、多職種合同研修会、普及啓発などに引き続き取り組む。
- 医療と介護の連携を有機的に推進するために、入退院支援ルールの導入・推進、入退院支援の充実を図るための事例検討等の研修体制の構築を図る

## 【 推進における課題等 】

- 北空知地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療と介護の連携の充実が今後も必要であり、地域センター病院である深川市立病院を中心に、それぞれの役割の明確化と連携強化が必要である。
- また、平成27年度から圏域の中核病院である深川市立病院の小児科・産婦人科常勤医師が不在となっていることから、地域が一丸となって医師確保対策に取り組んでいく必要がある。

(参考:年齢調整死亡率の推移)



※がんについては75歳未満の死亡率

